

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービス ままのりあニコ			
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2025年 9月 25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2025年 9月 25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	16名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 9月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	いつも保護者からの相談を受け入れられるよう留守番電話だけでなく、LINE公式を活用している。	家庭連携の職員がおり、保護者対応をしている。保護者会や大人の勉強会など研修会の機会を設けている。	個々のなかで、必要な関係機関との連携を行う。また、保護者や家庭に合ったサービスを提供する。
2	個々の発達に応じた支援に取り組んでいること。	利用児には基本的に個別指導とグループ活動両方に参加していただき、保護者にお子さんのいろいろな面を見ていただく。	お子さんの発達を踏まえた報告や先の見通しを保護者対応の職員が同じサービスの質で伝える。
3	必要があれば、こども園、幼稚園や学校、行政と連携を取り協力している。	保護者からの意向により、伝えにくいお子さんの特性や要望を伝え、必要があれば訪問している。	送迎がないので関わりが弱いと思われるので、積極的に各機関に挨拶をする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全体的な保護者会の開催が足りなかった。	それぞれ個別、グループで報告・相談等を受けていたが、事業所として全体の働きかけが足りなかった。	年に二回は保護者会を開く。仕事等で参加できない保護者のために補備日を設ける。
2	防犯マニュアルの説明、避難経路の説明など不足。	避難訓練の強化と予備日を設ける必要がある。	個別で来所している保護者への配慮と保護者会開催時の全体説明。
3	地域への発信。	早期療育の必要性を広く地域にアピールしたい。	地域に呼び掛け、自由に参加できるスペースと時間を設け、皆さんに楽しんでいただきたい。